

## 妻飾りの配置について

文書管理番号：1011-01

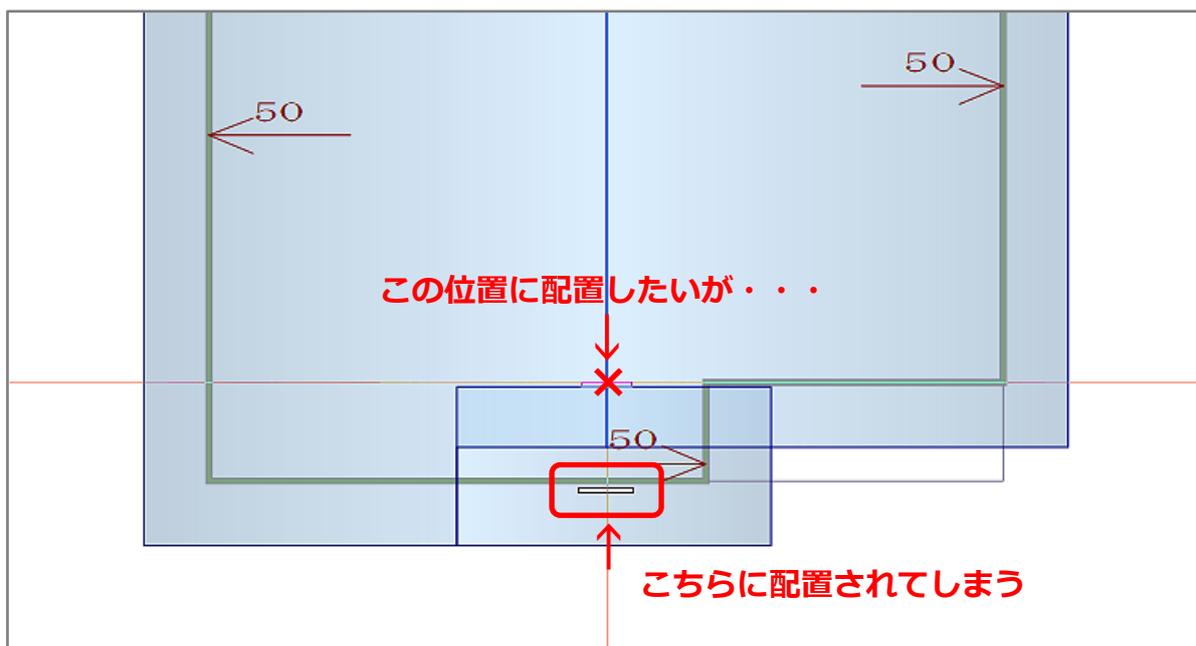
### Q. 質問

妻飾りが上手く入力できない。

妻飾りが指示した位置と異なる位置に入力されてしまう。

### A. 回答

切妻屋根の妻壁に妻飾りを配置する際に、配置位置に屋根面が重なっていると、指示した位置と異なる位置に入力されてしまう場合があります。



妻飾りの作図モードには、 (1点配置) と  (2点配置) の2種類があります。

 (1点配置) は外郭ラインを自動判断するため、指示した位置に一番近い外郭ライン上に配置されてしまいます。

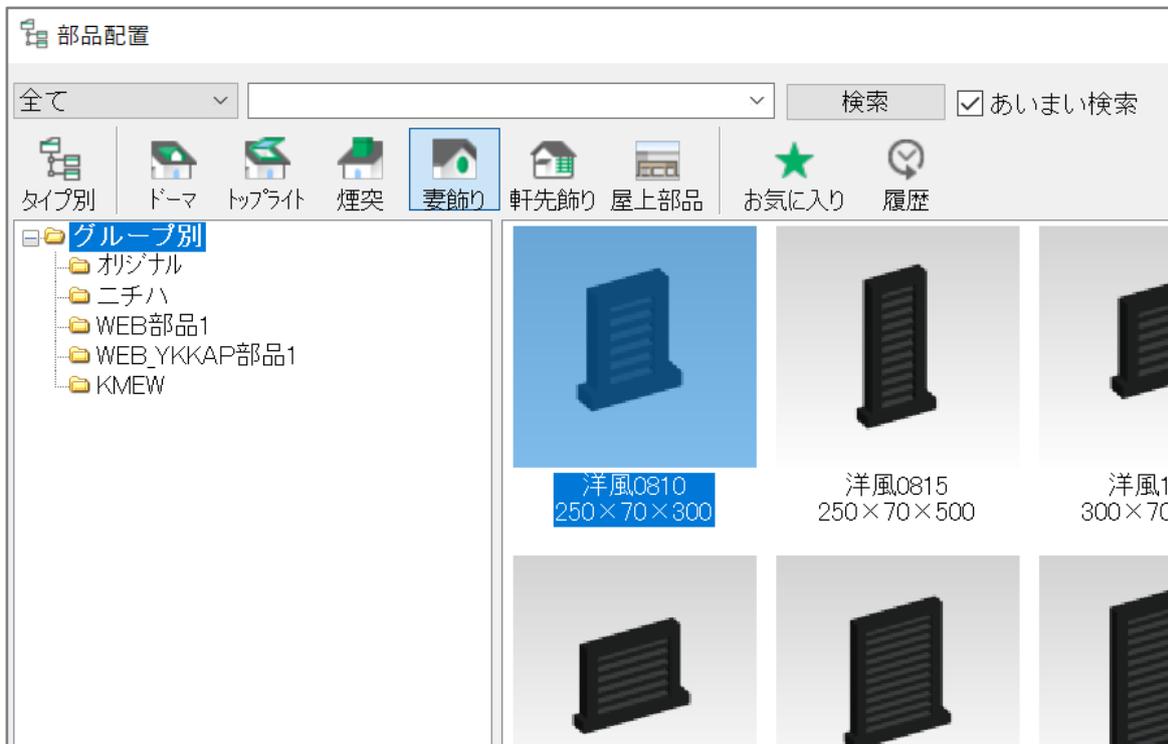
そのような場合には、 (2点配置) を利用して妻飾りを配置します。

 (2点配置) では方向を任意に指定でき、指示した位置に妻飾りが配置されます。

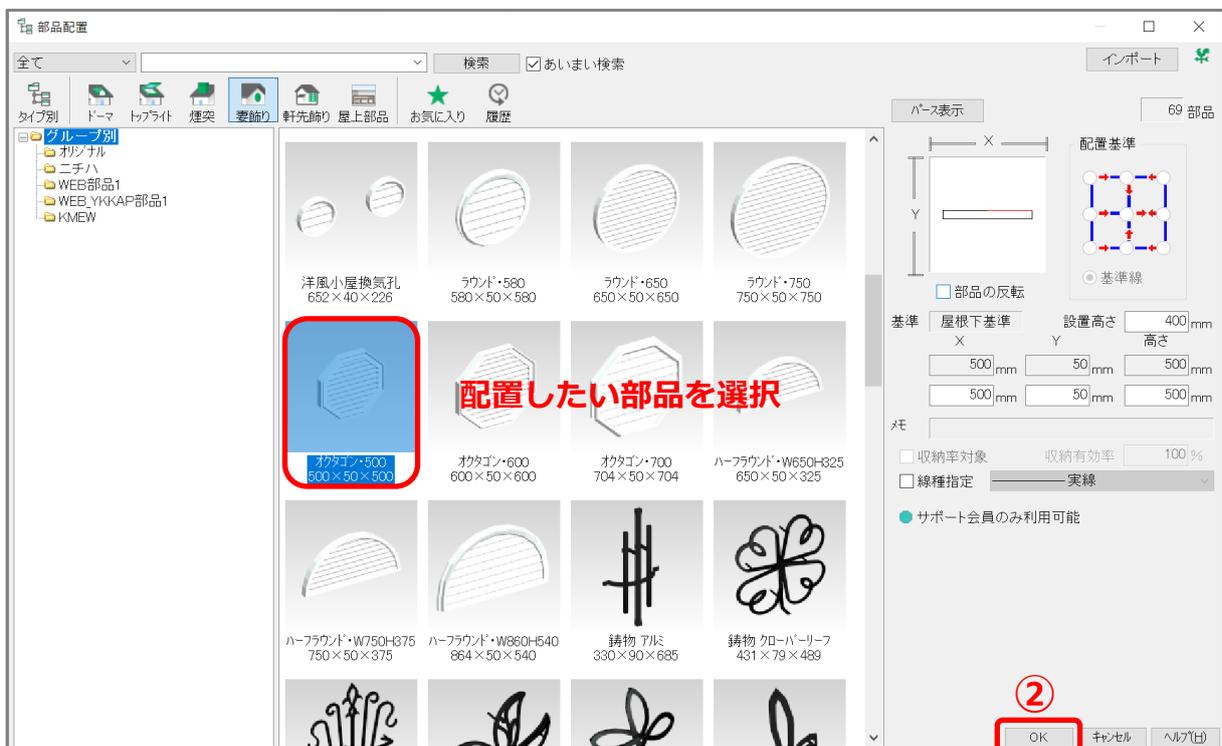
## 操作手順

- ① (屋根部品) の (妻飾り) をクリック

\* 部品配置の画面が表示されます。

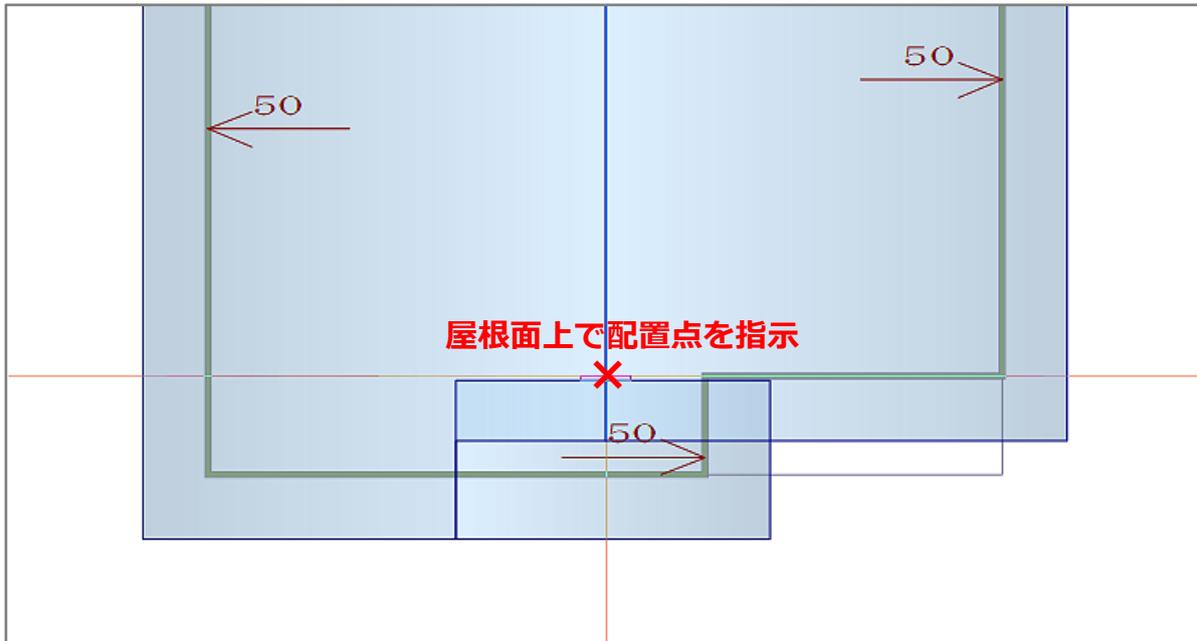


- ② 配置したい部品を選択し、「OK」をクリック



③ 部品を配置する前に、画面右上部にある  (2点配置) をクリック

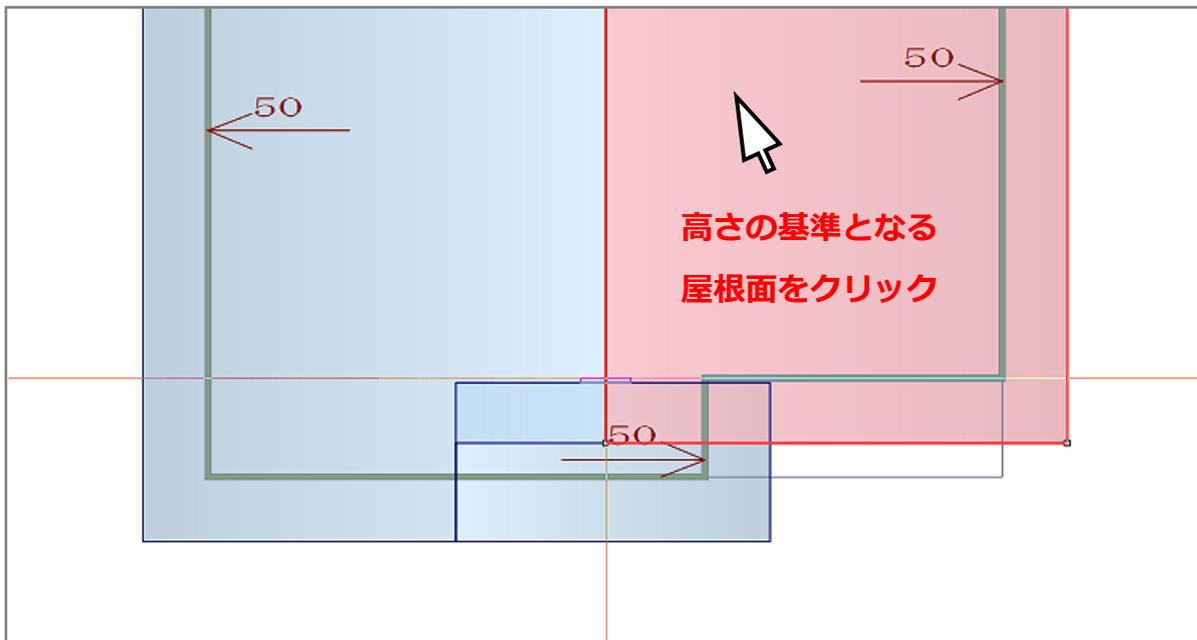
④ 屋根面上の部品を配置したい壁芯の位置で、配置点を指示



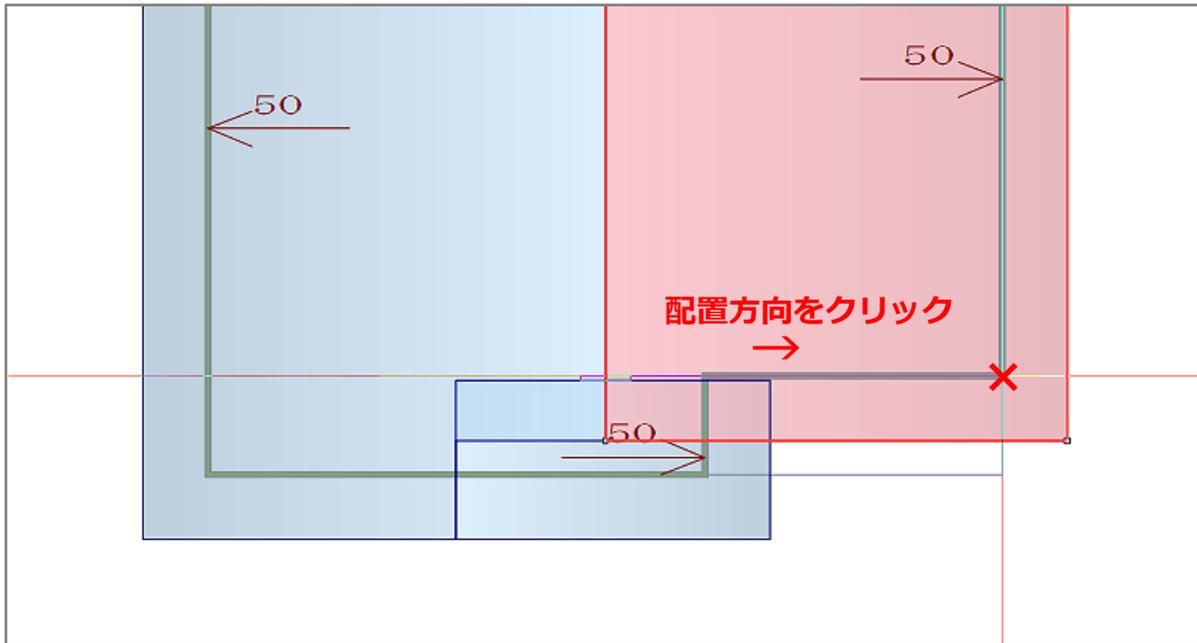
\* 指示した配置点に接する屋根面がすべて赤く選択されます。

⑤ 妻飾りを配置する高さの基準となる屋根面を選択

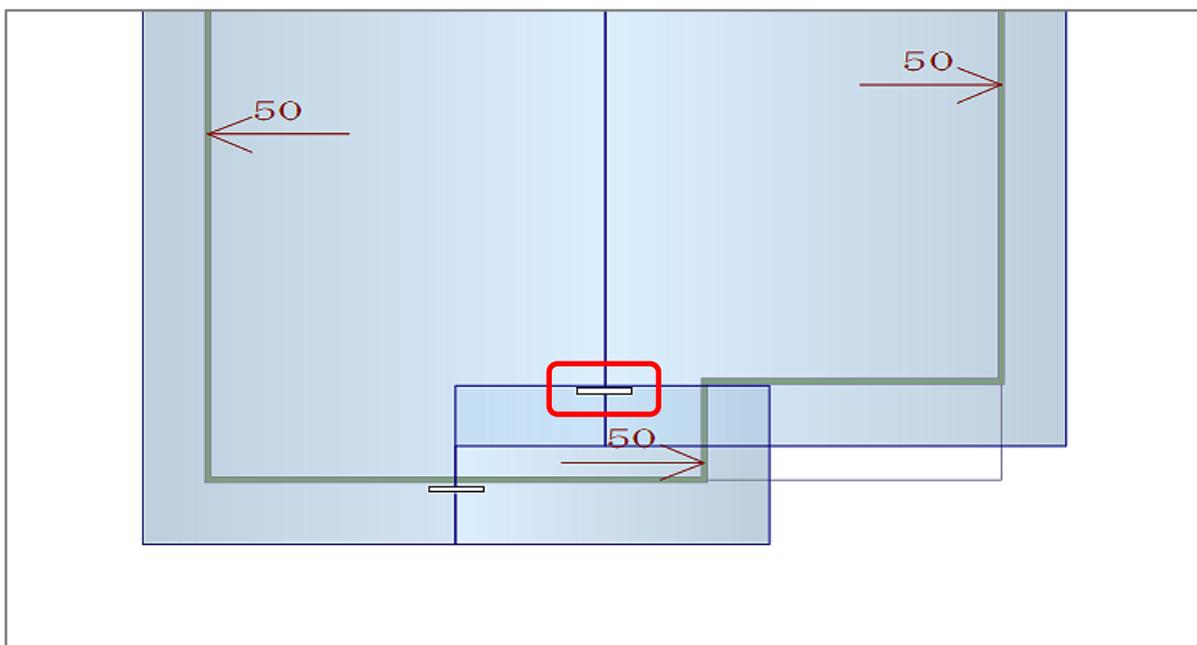
\* 選択した屋根面のみ赤く選択された状態に変わり、他の屋根面の選択が外れます。



⑥ 妻飾りの配置方向を指示



\* 配置位置が確定され、外壁の厚みを自動考慮した位置に妻飾りが配置されます。



## ⑦ 外観パースで確認

**【参考】** 妻飾りの設置高について

妻飾りの設置高は屋根下基準となっており、屋根下から妻飾りの上端までの高さをプラスの数値で指定します。